

令和7年9月19日

5年生保護者様

丹波篠山市立今田小学校

校長 細見 泰弘

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果について【5年】

5年生を対象に4月17日に実施された「丹波篠山市学力・生活状況調査」と5月19日に実施された「丹波篠山市生活習慣状況調査」の結果をまとめました。今回の調査結果をもとに、これまでの指導について振り返り、さらなる学力・生活習慣の向上に取り組めます。今後力を入れることを「重点ポイント」としてまとめました。

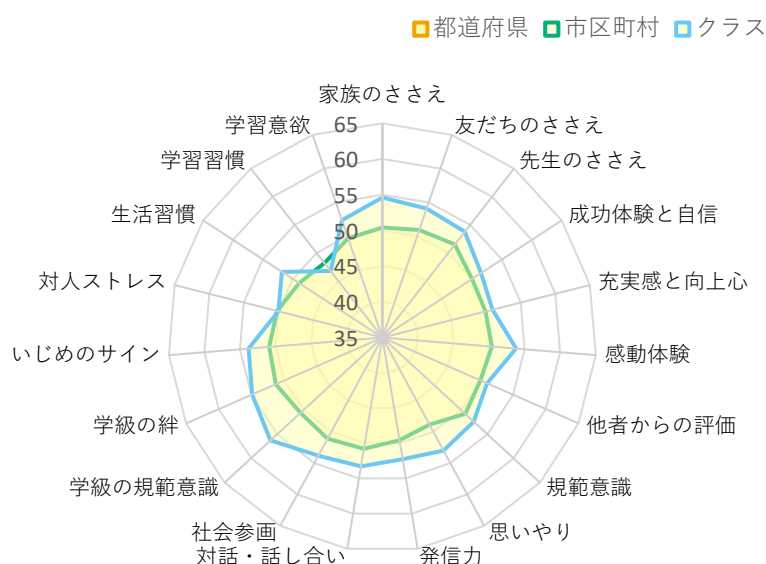
ご家庭でも、よりよい学校生活を送れるようご支援ください。

【生活習慣に関する調査結果の概要】

(生活の様子について質問し、内容項目を18項目に分類してまとめています。)

※全国平均を50とし、5%以上で「上回っている」、5%以下で「下回っている」と表しています。

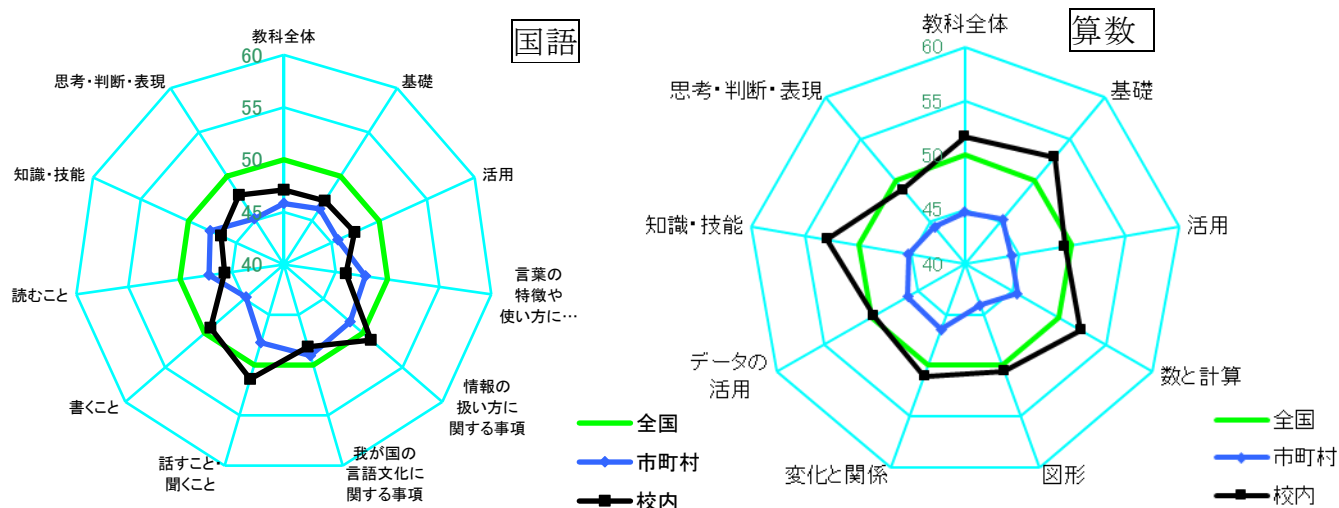
○5年生は、どの項目も全国と同程度でした。学年の平均値が最も高い項目は「学級の規範意識」、最も低い項目は「学習習慣」でした。



重点ポイント

- ・学ぶことへの意欲や前向きな姿勢が見られる一方で、家庭での学習習慣がまだ十分に身についていない児童もいます。同じ時間に机に向かうなど学習する時間を習慣化することや、宿題以外にも読書や復習、自主学習ノートなどに少しずつ取り組む習慣を身につけることができるように、学校でも指導します。ご家庭でも学習に向かおうとする意欲を認め、励ますお声かけをいただきますようお願いいたします。
- ・それぞれの得意なことや役割に応じて、「自分もクラスの中で大切な存在だ」と感じられる場面を意識的に設定します。自己肯定感や新しいことに挑戦しようとする意欲を高めていけるよう支援します。

【学力に関する調査結果の概要】



※全国平均を50とし、5%以上で「上回っている」、5%以下で「下回っている」と表しています。

○5年生の国語と算数はともに、「基礎」「活用」とも全国平均と同程度で、全国平均を下回る項目はありませんでした。

重点ポイント：国語

- ・授業だけではなく朝学習の時間や宿題も有効活用し、キーワードを見つけて短い文章にまとめる学習を取り入れます。
- ・事例や根拠を用い、書く内容の中心を明確にして、読み手に伝わりやすいような文章を書く活動に取り組みます。
- ・既習漢字の定着を図るために、繰り返し練習できるように工夫します。漢字を正しく書くために、作文や自分の考えをノートに書く際、習った漢字をできるだけ使うように指導します。

重点ポイント：算数

- ・「小数第一位－小数第二位の計算」に苦労している児童が多く見られました。小数点の位置を揃えて筆算を書く練習をくり返し行います。30.5を30.50と書いて小数第二位までイメージすることが、位を揃えるときの手立てとなります。
- ・三角定規や分度器を使った問題に課題が見られました。三角定規、分度器、コンパス等を使って長さや角度を測ったり、それを描いたり比べたりする操作活動を効果的に取り入れ、経験を通した理解につなげます。器具の操作の仕方の理解だけでなく、角度の大きさのイメージができるように学習をしていきます。
- ・朝学習や宿題などを活用して、既習学年の内容の復習を定期的に行います。